

ばねコーナート

創刊70周年 記念誌

ねじ産業界の歩み

金属産業新聞に見る
ねじ産業界の歩み

A4・773頁
15,000円(税別・送料別)

金属産業新聞社

お申し込みはFAX、または弊社
ウェブサイトからお願います
〔本社〕FAX 03(3433)5605
〔関西〕FAX 06(6762)3297

精密ばねに高精度めつき

絡まりやすい形状に最適

上田 鍍金

上田鍍金㈱(京都市右京区、上田裕一社長)は、新技術として精密ばねへの高精度めつき処理技術確立した。今年より量産を開始しており、従来均一なめつき膜厚を確保するのが難しかった精密ばねに対してより安定しためつき処理を提供していきたい考えた。



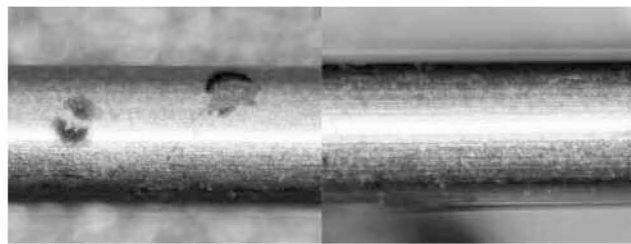
特に絡まりやすい形状の精密ばねに適している

同社が2年前より開発に取り組んだ新技術は、特殊な処理技術により精密ばねへ安定した品質の

めつき処理を行うもの(特許出願中)。対応品目としてニッケルめつき、金めつき。特に絡ま

りやすい形状の精密ばねへの処理に適しており、最小サイズではφ0.14ミリの実績がある。従来絡まりやすい精密ばねに対して均一なめつきを施すのは困難とされていた。また従来技術ではめつき膜厚に偏りが生まれるため、場合によっては複数回めつき処理を行う必要があった。担当

金めつきの膜厚が薄く腐食した例(写真左)と適的なめつき膜厚(右)



者は新技術について「一度の処理で高品質のめつき処理が行えるため、コストダウンにも繋がるの

ではないか」と話し、今後の展開に期待を示した。

同社は創業1920年のめつき加工メーカー。新規品及び高難度品の開発・分析、製造設備の内製化、量産までを一貫して行えるのが強みであり、エレクトロニクス部品をはじめ各種金属、樹脂等様々な素材への表面処理を行っている。営業品目としてニッケル、銅、錫、金、銀めつき、その他無電解めつきなど。

また近年では新技術としてめつき表面を針状に粗化させることで樹脂との密着性を高める「粗化めつき」への対応を開始している。